

主体的・対話的に学ぶ～4年生のがんばい～

11月13日(水)には指導主事訪問があり、4年生「へんてこ山の物語」の図画工作科の授業を見せていただきました。

4年生は、へんてこな山の形を考えたり、面白さを考えたりしながら、絵に表す学習に取り組みました。はじめに、担任のC先生が考えた「へんてこ山」の絵を見ながら、C先生自作の「へんてこ山の物語」を聞き、「楽しそうだな」「『へんてこ』なんだから『うまい、へた』を気にしなくてもいいんだ」「どんなへんてこな形にしようかな」という見通しを持ちました。

この時間は、1枚の画用紙に一つの山の絵を描くではありませんでした。いつもより小さな画用紙がたくさん用意されていて、1枚に一つの「へんてこ山」で、何枚も描いてもいいという時間でした。はじめは、「へんてこな形の山って？」と戸惑っていた人も何人かいましたが、他の人のアイデアを参考にしたり、1枚目のへんてこ山をより複雑にしたりして、2枚目、3枚目とイメージを広げていきました。続いて、みんながアイデアを持ち寄って鑑賞しながら、気付いたおもしろさ・よさを付箋に書いて貼った後で、気付いたおもしろさ・よさについて話し合いました。

- ・グルグルしていておもしろいね。
- ・三角なところがへんてこだね。
- ・ぎざぎざの部分が、痛そうだね。
- ・グニャグニャしていておもしろいね。
- ・ぎざぎざしているところと、丸いところがあっておもしろいね。 →形のおもしろさ・よさ
- ・火山みたいでおもしろいね。
- ・クラゲがいそうだね。
- ・登るときに大変そうだね。
- ・こわそうだね。 →受ける感じのおもしろさ・よさ

そして、最後に次の3つの視点で振り返りをしました。

- ①自分の活動はどうだったか。 ②友だちはどうだったか。 ③次の活動はどうしたいか。

子どもたちからは、「はじめはどうしようか迷ったけれど、想像して描くことができた。次は、絵に合ったお話を考えたい。」「少ししか描けなかったけれど、個性のある山の絵ができた。一人一人違う絵でいいなあと思った。次はおもしろいお話を考えたい。」という振り返りの発表がありました。みんな、今日の学習の楽しさを味わえていることが伝わってきました。

指導主事の先生からは、「①小さな紙にたくさん描く活動があってよかった。②友だちの作品を見る場面があり、『自分の表現の引き出しの中身』を増やすことにつながっていた。③何よりも、子どもたちが「表現と鑑賞」を楽しみながら学んでいた。」というようなお誉めの言葉をいただきました。

4年生の子どもたちは、この次の日に考えた「へんてこ山の物語」のお話を基に、絵に表す活動に取り組み予定です。どんな作品になるかとても楽しみです。4年生のみんな、よくがんばりました！



＜「大曲仙北小中音楽祭」のふり返しから＞

- 「ふるさとみち」と「こうか」で、「いきしちにひみいりい（の口の形に気を付けて）」をちゃんとうたえてよかったです。30人で大きいこえでうたえてよかったです。れんしゅうをいっぱいして、ほんばんで大きなこえでうたえてよかったです。（1年 O.Nさん）
- 大きいこえでうたえました。さいごも、ちゃんとおじぎができました。ちゃんと、うたえました。はくしゅうをいっぱいもらえて、よかったです。れんしゅうしたかいが、ありました。Mおねえさんのこえが、とってもひびいていて、いいなあとおもいました。（1年 K.Kさん）
- Nさんが、となりで大きいこえでうたっていて、いいなあとおもいました。みんなで、れんしゅうをしたかいがありました。30人が、「こうか」と「ふるさとみち」を大きなこえでうたえて、うれしかったです。ちょっとまちがえたけど、あとは大きなこえでうたえて、うれしかったです。みなさんから、大きなはくしゅうをもらえてうれしかったです。（1年 A.Kさん）
- まちがえないで うたえて よかったです。なおさんが、大きなこえでうたっていて、いいとおもいました。「どこからきたの（清水小の発表の歌）」のうたがむずかしかったけど、ちょっとだけおぼえられて、よかったです。（1年 W.Yさん）
- ぼくは、いいしせいでうたうことを がんばりました。これから、もっと大ぜいの前でもうたってみたいです。（2年 A.Hさん）
- わたしは、おきゃくさんにとどくように、大きな声で、はきはきうたうことができました。これからも、はっぴょうを大きな声でがんばりたいです。（2年 O.Rさん）
- はじめは、きんちょうしたけど、2きょく目（こうか）から大きな声でうたえました。角小にいても、全校の前ではっぴょうしたいです。（2年 K.Aさん）
- わたしは、口を大きくあける、勝手な行動はしないというめあてをもって、はっぴょうしました。めあての「口を大きくあける」が、よくできました。角小に行っても、めあてをもってはっぴょうしたいです。（2年 T.Hさん）
- さいしょは、きんちょうしたけれど、あとからは、きんちょうしなくなりました。みんなで、心を一つに歌えたので、よかったです。音楽さい（の経験）を生かして、角小の学習発表ひょう会場で、がんばりたいです。（3年 K.Aさん）
- わたしは、全校のみんなと心を一つにして歌えました。角小でも、心を一つにして歌いたいです。（3年 H.Yさん）
- ぼくは、本番前のさい後の練習で、少しきんちょうしたけど、本番では、きんちょうしないで大きな声で、はっきりゆっくり歌えてよかったです。角館小学校でも、発表のとき、小中音楽さいのときと同じ大きな声で歌いたいです。（3年 W.Hさん）

～中川っ子の歌声に～

こんなお返事が来ました～

講評

わぁ～！すばらしい！
 ひりひりが 大きく口を開けて、はきはきとした発音、ホールいっぱいに響く、力強い歌声でした。思わず胸がいっぱいになりました。
 みんなが指揮をしっかりと見て、伴奏によくのって、2曲とも元気いっぱいに歌っている姿に感動しました。
 中川小学校の最後におさわいり、はな歌唱でした。
 中川っ子ありがとう！
 中川小学校いままでありがとう！

